

拠出金名：世界保健機関拠出金

国際機関等名	世界保健機関 (英文名称・略称) World Health Organization (WHO)					
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)		国連専門機関	その他
所轄官庁担当局課名	外務省国際協力局専門機関課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レート		
平成18年度*	2,544,786	22,926		1\$ = 111円	(2006年) 3.5	100
平成17年度	0	0		1\$ = 107円	(2005年) 0	0
平成16年度**	660,000	6,000		1\$ = 110円	(2004年) 1.1	100
* 鳥及び新型インフルエンザ対策のためのWHOへの拠出金(平成18年度補正)						
** スマトラ沖大地震及びインド洋津波に関するWHOを経由した緊急人道支援						
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2006年決算)		
	国 名	金額(千ドル)	率(%)			
1位	アメリカ	138,885	22.4	当該年度の収入 24億1600万ドル		
2位	イギリス	114,521	18.5	当該年度の支出 17億9700万ドル		
3位	カナダ	81,872	13.2	次年度への繰越 6億1900万ドル		
4位	ノルウェー	50,633	8.2	会計検査機関名		
5位	スウェーデン	41,921	6.8	外部監査官(External Auditors)		
上記の率及び順位は2006年のもの				Comptroller and Auditor General of India (現在の構成員の出身国: インド)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
WHOは「全ての人々が可能な最高の健康水準に到達すること」を目的とし、感染症対策、必須医薬品や食品保健などの基準づくり等、途上国への技術支援を含む保健衛生分野の様々な事業を展開している。WHOを通じた本事業は、国際機関の豊富なネットワークと専門知識、ノウハウを活かすとともに、加盟国同士が情報共有ネットワークを形成して鳥・新型インフルエンザをはじめとする新興・再興感染症に対処する等、二国間協力とは質の異なる保健衛生水準の向上と健康危機管理体制の構築をおこなっており、世界の、そして西太平洋地域の保健医療分野における諸問題の解決に、幅広くかつ効率的に貢献している。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
資源配分を各地域間において公平かつ最も必要性の高い国々に重点的に行うため、資源重視の運営から成果重視の運営へ移行している。 通常予算については、1996年以来連続8年間名目ゼロ成長を維持してきたが、新規需要に対応することを理由に、2006-2007年及び2008-2009年予算において4%の増額となった。我が国としては、今後も事業予算効率化の余地があり、名目ゼロ成長の維持を主張していく。						
邦人職員数 うち幹部以上	44人 うち 4人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		1,754人 2.5%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
西太平洋地域事務局長		尾身 茂				
マラリア対策部長		古知 新				
たばこ対策部長		望月友美子				
WHO神戸センター所長		岩尾総一郎				
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
これまでもWHOの重要ポストの獲得を実現しているが、今後とも、空席ポストの情報を鋭意収集し、当該ポストへの邦人職員の送り込みに努める。						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2004年～2006年)。

(参考) WHOには、この他に厚生労働省からも拠出あり。